

研修名	令和3年度 精神保健福祉実務者研修
講師	<ul style="list-style-type: none">・子ども家庭局子育て支援課・なかなみメンタルクリニック 院長 中並 朋晶 氏
開催日時	令和3年12月1日(水) 18:00 ~ 20:00
開催方法	オンライン研修 (Webex Meetings 使用)
申込者数	73名 (内訳: 行政機関、医療機関、障害者支援機関等の職員)
内容等	精神保健福祉業務等(周産期、子育て期の家庭を支援している機関を含む)に携わっている方を対象に、相談支援技術の向上を図ることを目的とした研修を開催しました。「周産期のメンタルヘルス支援」と題し、子ども家庭局子育て支援課より「北九州市の妊娠・出産・子育て期支援施策」について説明し、「妊娠・出産および産後にみられるこころの問題について」というテーマについて、なかなみメンタルクリニック院長の中並朋晶先生にご講義いただきました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none">・日々の業務の中で、妊産婦さんと一番近い立場に位置する職種だと思っています。どのタイミングで他職種と連携を持つか?悩むところです。悩む段階から他職種と繋がる、顔の見える関係を地域で作り上げていくためにも、今回の様な研修に参加させて頂きとても感謝です。・子育ては簡単なようでひとりの人間を育てる大切な作業。いろいろな人との関わりで見守っていききたいものですね。支援は地域と病院をつなぎ、不安や悩みを取り除き育児の助けとなりうるためこれからも続けていきたいと思っています。私が勤務し始めた時は全くこういう事がなかったためどんどんこのような形になってきて嬉しく思います。北九州市ではない方達にも病院で引き継ぎ援助できる方法ができてきたら良いと思います。・男性として、女性に対する理解をする上でとても参考になりました。男性に受講を広めた方が良いと思います。・周産期センターなので、今後の母親、家族へのケアにつなげていきたいです。・今行っていること、自分の仕事の再確認ができたので良かったです。・妊娠中にもエジンバラのテストが出来ること知らなかったので切迫早産の入院の方や精神疾患合併の妊婦に活かしたら良いなと思いました。